金武小学校週末課題　10/13-14

上与那原寛和（うえよなばる　ひろかず）沖縄市出身
平成十二年、仕事が終わりバイクで帰宅中、車とぶつかって事故。首を骨せつし、足が動かなくなり手にマヒが残った。知人のすすめで車いすマラソンに参加。北京オリンピックでは世界記録を三分半こう新するが、オーストリアの選手にわずか３秒足らずに銀メダルを獲得。

上与那原さんアジアパラ800金

0.01秒差 悲願の頂点

「今日は『何が何でも』と決めていた」。陸上の上与那原寛和選手(43)＝沖縄市＝は前日までの3種目はいずれも銀メダルで、出場最終種目の男子800㍍には背水の陣で臨んだ。（1面参照）

2位とはわずかに0・01秒差で制し「やった。頂点に立った」と表彰台のセンターで喜びをかみしめた。

前日の200㍍では後半に伸びなかった。「原因が分からない」と悩んでいた。800㍍に向けては、タイヤの空気圧を落とすなど、試行錯誤を繰り返した。

200㍍手前からトップを走るピチャヤ選手（タイ）の後ろにつけ、チャンスをうかがった。タイヤにしっかりと力が伝わる感覚もあり、スムーズに速度を調節できた。「いける」。ラスト100㍍で外側から抜き去った。

「世界に向けたスタート」と位置づけた今大会で、出場全種目でメダルを獲得した。「取り組んでいることは間違っていない。少しずつ強化していく」と来年控える世界選手権に向け、さらなる飛躍を誓った。

陸上男子800㍍（T52）で優勝した上与那原寛和選手＝仁川

沖縄タイムス　2014.10.24

上の沖縄タイムスの記事を読んで、次の〈条件〉に従って文章を書きなさい。

① ２段落の文章にすること

第１段落→上与那原さんは、なぜ「背水の陣」で８００m車いすマラソンにのぞんだのでしょうか。

第２段落→あなたは、何か目標に向かってがんばったことがありますか。また、その時の自分のがんばりについて今はどんなことを考えますか。

② 60 字以上、80 字以内の文章にまとめること。また、原稿用紙の正しい使い方に従うこと。

※原稿用紙に題名や氏名は書かないで、すぐ本文から書き始めること

（　　）年（　　）組（　　）番　名前（　　）